



Business Report

第77期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日



代表取締役社長

曾谷 太
Futoshi Sotani

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第77期中間期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直し基調に転じています。しかし、ウクライナ情勢の長期化等の地政学的リスク、欧米での金融引き締め等の長期化、中国の不動産不況、資源価格の大幅な高騰に起因した材料調達コスト及び電気・ガス料金の急激な上昇などにより、当社グループの経営環境は、依然として先行き不透明な状況が続くものと想定しております。

こうした状況下で当社グループは、引

き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・蓄電池・建材、化粧品、介護食等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

特に、当社グループの主力である高機能樹脂製品は、自動車生産の回復に伴い、自動車部品業界向け製品の販売が好調に推移する中、EV関連部品向け樹脂製品の販売も国内外で伸長しました。付加価値の高い高機能樹脂製品の販売が伸長し

たこと等で、営業利益は前年同四半期を大きく上回りました。また、製紙業界向けの販売では、差別化製商品の拡販と周辺市場の開拓に注力。食品業界向けの販売でも、新規商材の発掘や市場の開拓に加え、新規複合食品素材の開発に取り組む等、それぞれが当社グループの業績に寄与できるよう、努めてまいりました。

当社グループは、事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続きグローバルな視野に立って将来的に成長が期待できる事業分野と市場に経営資源を重点的に集中させ、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けて当社グループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。

経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め
常に知識を生かしながら
『お客様にとってなくてはならない』存在として
付加価値の高い製品 サービスを提供し また
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

SOMAR's Mission Statement
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.

SOMAR Corporation



社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

◆ 事業の内容

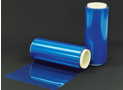
【商社とメーカー2つの顔を持つソマル】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「商事機能」と「メーカー機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



【事業セグメント】

	高機能材料事業	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高：	9,325 百万円（前年同期比 8.9%増）	電子機器業界向け関連製商品の販売は、需要の一巡や世界的なインフレ懸念等によりスマートフォン市場が停滞した影響を受けたものの、自動車部品業界向け製商品の販売は、半導体不足の緩和による自動車生産の回復や、EV関連部品向け樹脂製商品の販売が国内外で伸長したことにより前年同四半期を大きく上回った結果、売上高・営業利益が増加しました。
営業利益：	697 百万円（前年同期比 90.6%増）	
	環境材料事業	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高：	2,307 百万円（前年同期比 2.3%減）	底堅い需要が見込まれる板紙分野への拡販や新規開拓に取り組んだものの、商品販売において原材料価格の下落により販売価格改定が生じたため、売上高は減少しましたが、利幅が大きい製品売上比率が上昇したこと等により営業利益は増加しました。
営業利益：	102 百万円（前年同期比 157.7%増）	
	食品材料事業	主な製商品：増粘安定剤（グァーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高：	1,358 百万円（前年同期比 0.8%減）	取扱商品の市場価格が高騰する中、商材の拡充と販路の拡大に積極的に取り組んだことにより、乾燥野菜は売上高が増加したものの、増粘安定剤は需要の不透明感の高まりや需給環境の変動等により需要が落ち込み、取引数量が減少した結果、売上高・営業利益が減少しました。
営業利益：	85 百万円（前年同期比 19.1%減）	

◆ 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (千円)

科 目	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2023年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	17,560,915	18,373,741
固定資産	6,133,747	6,456,513
有形固定資産	3,062,983	3,199,147
無形固定資産	114,663	123,382
投資その他の資産	2,956,100	3,133,983
資産合計	23,694,663	24,830,255
【負債の部】		
流動負債	4,648,356	4,648,669
固定負債	4,262,421	4,284,004
長期借入金	4,000,000	4,000,000
資産除去債務	64,292	64,377
繰延税金負債	156,396	178,008
退職給付に係る負債	4,762	5,061
その他	36,970	36,557
負債合計	8,910,777	8,932,674
【純資産の部】		
株主資本	12,662,788	13,008,624
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	3,132,052	3,478,192
自己株式	△58,427	△58,732
その他の包括利益累計額	2,116,332	2,884,416
非支配株主持分	4,765	4,540
純資産合計	14,783,885	15,897,580
負債純資産合計	23,694,663	24,830,255

◆ 株主の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 6,000,000株
発行済株式の総数 1,958,734株
株主数 1,369名
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
株式会社SBI証券	51	2.6
三菱UFJ信託銀行株式会社	47	2.4
株式会社三菱UFJ銀行	42	2.2
INTERACTIVE BROKERS LLC	42	2.2
秋元利規	40	2.1
ソマール従業員持株会	30	1.6

(注) 持株比率は自己株式 (19,544株) を控除して計算しております。

四半期連結損益計算書 (千円)

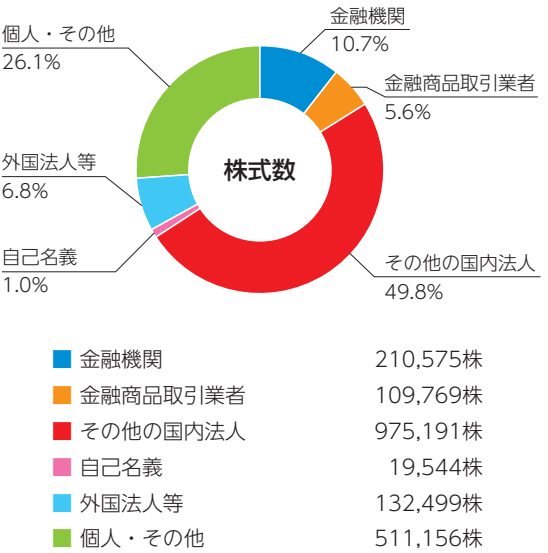
科 目	前第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日
売上高	12,337,032	13,031,115
売上原価	10,279,149	10,500,883
売上総利益	2,057,882	2,530,232
販売費及び一般管理費	1,700,319	1,784,238
営業利益	357,562	745,993
営業外収益	93,645	85,444
営業外費用	17,922	17,052
経常利益	433,286	814,385
特別利益	165,191	—
特別損失	105,344	*338,509
税金等調整前四半期純利益	493,132	475,875
法人税等合計	99,578	32,994
四半期純利益	393,553	442,881
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	△234	△224
親会社株主に帰属する 四半期純利益	393,788	443,106

* 当第2四半期連結会計期間の特別損失には、「退職給付制度改定損 320,232千円」が含まれております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△976,286	1,038,852
投資活動による キャッシュ・フロー	△86,011	△416,237
財務活動による キャッシュ・フロー	456,122	△98,171
現金及び現金同等物に 係る換算差額	435,794	251,804
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△170,381	776,247
現金及び現金同等物の 期首残高	4,701,019	4,866,451
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,530,638	5,642,699

所有者別株式分布状況



◆ 会社概要 (2023年9月30日現在)

商 号	ソマール株式会社
英 文 商 号	SOMAR CORPORATION
設 立	1948年2月26日
資 本 金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従 業 員	連結 467名 単体 334名

◆ 役 員 (2023年9月30日現在)

代 表 取 締 役 社 長	曾 谷	太 樹
取 締 役	小 林	次 久
取 締 役	牛 尾	正 成
取 締 役	関 口	幸 幸
取 締 役	三 村	久 根
取 締 役	坂 本	昇 之
取 締 役	春 日	彦 信
常 勤 監 査 役	今 井 原	孝 俊
監 査 役	亀 山	晴 玲
監 査 役	中 島	史 史

(注) 1.取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。
2.監査役亀山晴信氏及び監査役中島玲史氏は、社外監査役であります。

◆ 株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確 定 日	3月31日
中間配当金受領株主 確 定 日	9月30日
株 主 総 会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.somar.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

◆ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様及び一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内で、事業活動、製品情報、CSR関係情報等の様々な情報を掲載しております。

当社ホームページアドレスは次のとおりです。

<https://www.somar.co.jp>

